



特集

## 坂井市の未来人口

議案の流れ

一般質問

常任委員会報告



らしさ、かがやく。

坂井市

LINE 公式アカウント

坂井市の最新情報を日々発信中!

こちらの二次元コードから  
「福井県坂井市」を友達に追加 ▶



# 坂井市の未来人口

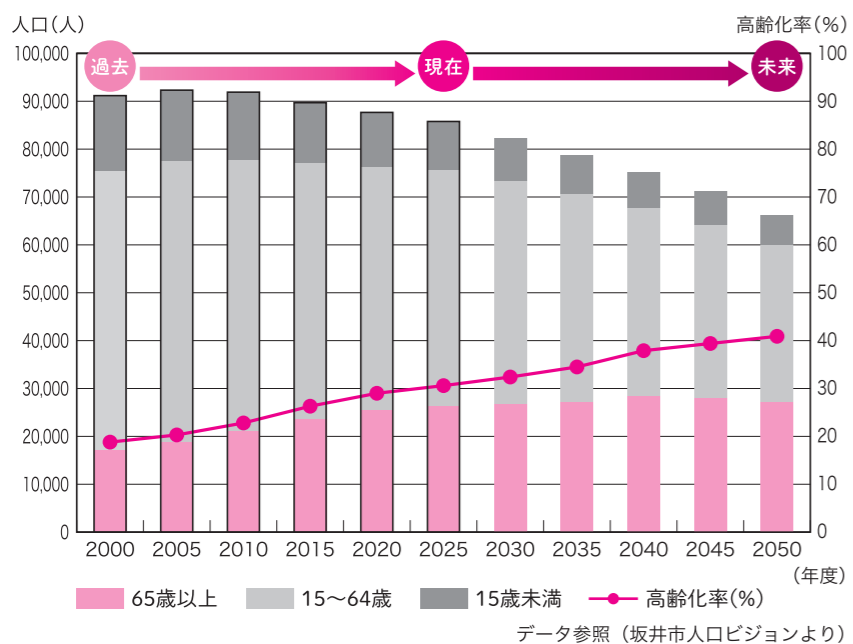
## 若い世代が選ぶまちへ



— データで見る若者流出の現実と、これからの未来 —

坂井市では、人口減少と高齢化が年々進む中、特に若い世代が市内外へ流入出していることが将来のまちづくりに大きな影響を与えています。  
 進学や就職、そして結婚や子育てといった人生の転機を迎える時期に、市外へ移る若者が多く、その後も「戻ってきにくい」構造が続いています。  
 若い世代の減少は、働き手の不足や出生数の減少、地域行事を支える担い手の確保など、私たちの生活に直結する課題にも広がっています。  
 この特集では、データをもとに現状を見つめ直し、これからの坂井市をどのように描いていくかを考えます。

### 1 坂井市の人口推移 (未来推定)



坂井市の人口はこの10年間で着実に減少し、特に15~64歳の働く世代が大きく減っていることが特徴です。一方で、高齢化率は年々上昇しており、まちの年齢構成は大きな転換期を迎えています。

さらに、将来推計では今後も人口減少と高齢化が進む見通しが示されています。こうした変化は、地域経済、子育て環境、そして地域活動の担い手不足など、暮らしのさまざまな場面に影響を及ぼす可能性があります。

現在の姿と将来の見通しを踏まえ、「若い世代が選びたいまち」をどうつくるのが、今の大きな課題です。

### 3 若い世代が求めるもの

ゆとりある暮らしがしたい

安定した仕事があること

子育てしやすい環境

新しい働き方に挑戦したい

エンターテインメント施設

地域とゆるくつながりたい

若い世代は、**生活の安心と働き方の柔軟さ、子育てや住まいの環境、地域との心地よいつながり**を求めています。

### 2 坂井市の年代別転入出数

2024年4月1日~2025年3月31日

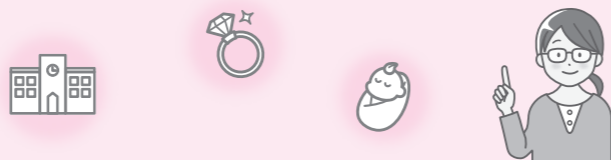
異動時点年齢	転入	転出
15歳未満	209	150
15-19歳	54	96
20-29歳	651	832
30-39歳	398	350
40-49歳	191	179
50-59歳	137	125
60-69歳	76	57
70歳以上	103	87
合計	1,819	1,876

※本特集では、日本人の転入・転出データを用いて分析しています。

日本人の年代別の転入・転出数を見ると、15~29歳では特に転出が多い一方、それ以外の年代では転入が多い傾向が見られます。

進学や就職のタイミングで市外へ移り、結婚や出産・子育てを考える時期に市内へ移る人が一定数いると考えられますが、全体としては転出数が上回っています。

こうした若い世代の動きは、将来の人口構造や地域を支える担い手にも関わる重要なポイントといえます。



### 4 坂井市に移住してきた人の言葉

Q&A QUESTION AND ANSWER

#### Q なぜ坂井市を選びましたか?

子どもをのびのび育てられる環境を探していて、坂井市の落ち着いた雰囲気と、教育や子育てのサポートが整っている点に安心感を持ちました。

#### Q 良かったと感じることは?

自然が近くにありながら、日常の買い物や病院などの施設が充実していて、生活がとてもスムーズです。近所の方が気さくに声をかけてくれるなど、人との距離感もちょうど良いです。

#### Q 驚いたことはありますか?

坂井市に来てまず驚いたのは、空がとても広くて綺麗なことです。特に夕方の空の変化がよく見えて、毎日違う表情の空を楽しめます。自然が身近で、人もあたたかく、想像していたより快適な暮らしです。

#### Q 助かったと感じることは?

移住支援金をはじめ、制度があらかじめ整っていたので助かりました。住まいや仕事のことを考える際も、相談しやすい窓口があり、移住後の生活を具体的にイメージしながら準備を進めることができました。

転入・転出の背景には、一人ひとりの暮らしや選択があります。若い世代が安心して暮らし、将来もここで生活したいと思えるかどうかは、まちのこれからの大きく関わります。

坂井市の良さを生かしながら、次の世代に選ばれるまちづくりを考えていくことが、今、大切なテーマとなっています。



## 主な質疑内容

### 財務部

**Q** 公共施設個別施設計画において、延べ床面積を30年間で20%削減としているが、「あり方検討」とされている施設を全て廃止すれば達成できるのか。

**A** 「あり方検討」とされている施設を全て廃止したとしても、20%削減には到達しない見込みである。20%という数値は、現状の施設を維持・更新した場合に生じる財源不足額を面積換算したものであり、各施設の方針については今後、所管課で検討していく。

**Q** 学校施設が公共施設個別施設計画において大きな割合を占めているが、今後の考え方は。

**A** 学校施設は公共施設全体の約4割を占めており、財政的な負担も大きいことから、教育環境の在り方について教育委員会とも連携し、市全体として公共施設の在り方を検討していく。

### 生活環境部

**Q** 環境基本条例改正案は、市内の児童の意見もきっかけの一つとなったと思うが、提案した児童たちにはどのように返答する予定か。

**A** 児童の意見がどのように条例案や環境基本計画に反映されたのかを、地元を訪れ分かりやすく説明する。

**Q** プラスチック粗大ごみ回収事業の成果と課題は。

**A** 約4トンのプラスチック粗大ごみを回収することができたが、金属部品が付いた製品の分別について周知が課題となった。今後は家電回収なども含め、より効果的な運用を検討していく。

### 総合政策部

**Q** 移住・定住支援金の申請予定者は当初見込みよりどれだけ増えたか。

**A** 東京圏型は4組8名から8組19名に、全国型は32組74名から42組89名に増える予定である。

**Q** 令和8年1月25日に坂井市単独で行われる移住フェアの詳細は。

**A** 関東圏からの移住割合が増加傾向にあり、さらに本市を知ってもらう機会を設けるため、東京駅から徒歩4分にある移住・交流情報ガーデンで単独の移住フェアを開催する。当日は移住相談会やプロモーション動画の放映を行い、来場者には坂井市産米のおにぎりを無料配布する予定である。

### 総務部

**Q** 地域防災計画の改定で、快適なトイレの設置とあるが具体的にどのようなことをするのか。

**A** 災害時の生活環境向上のため、避難所の簡易トイレの数を3年ほどかけて増やしていく予定である。



▲プラスチック粗大ごみ回収の様子  
(令和7年10月：坂井市役所本庁舎駐車場)

令和7年度

## 一般会計補正予算概要

補正額 **13億3,209万円** (補正後の額 509億9,404万円)

令和7年度一般会計補正予算(第6・7・8号)を議決しました。  
ここには主な事業を掲載しています。

詳細はこちら▶



**予防接種事業 700万円**

帯状疱疹の予防接種者増加に対応するため、委託料を増額。

**移住定住推進事業 1,185万円**

移住定住を推進するとともに、中小企業などの人手不足解消に資することを目的とした支援金交付のための所要額を増額。

**体育施設管理事業 1,276万円**

丸岡武道館2階剣道場の床について、劣化や損傷に対応するための張り替え改修に伴う所要額を計上。

**龍翔博物館管理運営事業 30万円**

安島地区に伝わる「刺し子」の継承と発展に活用するための費用を計上。

## 定例会審議結果

### 全会一致となった議案と議決結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第53号	令和7年度坂井市一般会計補正予算(第6号)	可決	議案第61号	坂井市病院事業管理者の給与及び勤務時間等に関する条例の制定について	可決
議案第54号	愛宕団地1号館耐震改修工事(建築)請負契約の締結について	可決	議案第62号	坂井市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第55号	土地の取得について	可決	議案第64号	令和7年度坂井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第56号	令和7年度坂井市一般会計補正予算(第7号)	可決	議案第65号	令和7年度坂井市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第57号	令和7年度坂井市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	議案第66号	令和7年度坂井市病院事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第58号	福井坂井地区広域市町村圏事務組合規約の変更について	可決	議案第67号	坂井市一般職の職員の給与に関する条例及び坂井市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第59号	指定管理者の指定(坂井市丸岡城観光情報センター)について	可決	発議第5号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について	可決
議案第60号	坂井市屋内児童遊戯施設条例の制定について	可決			

### 賛否が分かれた議案一覧

○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 ……原則採決に参加できない

議案番号	件名	議席 議員氏名	議員氏名																							
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23		
議案第63号	令和7年度坂井市一般会計補正予算(第8号)	林 豊夏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第68号	坂井市特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例について	佐藤 岳之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第69号	坂井市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について	廣瀬 陽子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
発議第6号	誰もが安心できる年金制度への改善を求める意見書の提出について	鍋嶋 邦広	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○			



## 主な質疑内容

### 産業政策部

**Q** 多面的機能支払交付金事業の、長寿命化資源向上支払の対象組織数が減少した要因は。

**A** 当初125組織数を計上していたが、組織内の協議により3組織が事業を見送ったためである。

**Q** 坂井市産米「いいことこめこめ坂井市産米」のキャッチフレーズを浸透させるための取り組みは。

**A** PRデザインと、坂井市産米のおいしい秘密を説明したホームページを作成したので、生産者、飲食店に活用してもらい、一緒にPRに取り組んでいきたい。

**Q** ウニ陸上養殖の現状は。

**A** 県の栽培漁業センターから令和7年11月に2万個体受け入れ予定であったが、受け入れ前に海水温の上昇により大量死が発生し、受け入れできる個体数が5千個体程度になった。

3月まで県で引き続き栽培し、ウニの数や大きさを見ながら受け入れを行うか検討していく。

**Q** 観光施設のトイレ改修計画は。

**A** 丸岡城観光情報センターや東尋坊の施設については、女子トイレの数に余裕を持たせるよう取り組んでいる。

**Q** 坂井市アンテナショップの費用対効果と今後の在り方と見直しは。

**A** 品川区戸越銀座にアンテナショップがあることにより、品川区との連携や、本市の米やカニなどの特産物など首都圏へのPRがやりやすくなっており、採算ベースで売り上げも徐々に伸びている。

### 建設部

**Q** 磯部川の全体的な改修計画および断面形状は十分な排水能力計画になっているのか。

**A** 補正予算での磯部川改修工事は、丸岡町新九頭竜団地内の草木などで荒れた状態になっている箇所の護岸に張ブロックを設置し、護岸の強化を図る工事である。

今回の改修は上流ののり面に張ブロックを設置、上端をコンクリートで固め、増水時ののり面崩壊を防ぐ対応を行う。

**Q** 国道8号線の4車線化の進捗状況は。

**A** 用地買収は既に完了しているが、丸岡町玄女からあわら市笹岡までの5.4キロの区間が4車線化されていない。4車線化に向けて道路促進協議会において、国土交通省はじめ関係省庁に予算化に向けて、力強く要望していく。

**Q** 除雪計画の見直しおよび対面交通が可能な除雪の進め方を。

**A** 職員の除雪パトロールを通して、雪の降り方、積雪の状況、道路状況などの情報を業者と共有しながら待避場所を設けるなどの対応をしていく。



▲ 完成した丸岡城の水盤



## 主な質疑内容

### 健康福祉部

**Q** 帯状疱疹の予防接種増加による補正予算増額であるが、当初予算の予定数からの追加を何人分計上しているのか。

**A** 当初予算で900人を見込んでいたが、令和7年9月末の時点で898人と目標に近い人数を達成した。令和8年3月分までで追加約250人分を見込み計上している。

### 教育委員会

**Q** 市内スポーツ施設などの修復や整備の緊急性、危険度など、優先度はきちんと計画されているのか。

**A** 具体的に明文化されているようなものは今のところない。  
しかし、各施設それぞれに通常の運用の中で危険箇所を常時監視する指定管理者がおり、緊急性を有するものは緊急修繕をしている。

また、大がかりな改修については、指定管理者と協議の上、予算化をして修繕を行っている。

今後は、危険度の判定や、予算要求の優先度も指定管理者と連携をとり対応していきたいと考えている。

**Q** 全天候型子どもの遊び場のオープンに向け、営業日の設定など参考にした施設はあるのか。

**A** 本市が最も参考にしたのは大野市の「大野天空パークOSORA」であり、石川県加賀市の「かがにこにこパーク」、敦賀市の「キッズパークつるが」なども参考にしている。

近隣の「エンゼルランドふくい」が月曜日休館であるため火曜日を休館日と考えている。

また、参考にした施設では利用者が殺到し混雑した経緯から、土日祝日は予約制にしているとのことで本市も同様の運用を計画している。

### 三国病院

**Q** 三国病院は今回の国の診療報酬先払い補正予算の給付対象であるのか。

**A** 診療報酬である人件費と物価高騰に関する補填で対象になる可能性があり、1,800万円ほどの給付を見込んでいる。

**Q** 令和8年度から管理者の体制が変わり、本格的に医師の確保が進むと考えるが、最も重要視しているものは何か。

**A** 病床利用率を高め、入院患者を多く受け入れていくことを第一に考えている。

外来の医師を増やすことで外来数が増え、入院数も上がっていく。また、大学病院や県立病院からの紹介の患者の受け入れも増えていく。

加えて救急の受け入れ体制についても、昼間は100%断らない姿勢で取り組み、地域のためにも令和8年度の大きな柱としたいと考えている。



▲ 全天候型子どもの遊び場「さかいキッズパーク」の工事現場を視察する様子（令和8年3月オープン予定：坂井町上新庄地係）

**Q** 中学校部活動地域移行の考えは

**Q** 教師にとって部活動は、生徒の特性を見いだす役割があると思う

**A** 子育て世帯の負担軽減の観点から、国の動向を注視しながら、令和8年度からの中学校給食の無償化に取り組んでいきたい。

**Q** 小学校給食無償化と同時に、本市の独自施策として、中学校給食の無償化も実施すべきと考えるが。

**A** 本市の給食材料費は低学年で5300円、高学年で5900円と国の基準額と差が生じるため、国の補助内容を踏まえて検討するにあたり、保護者負担の軽減と給食の質の維持を図っていきたい。

学校給食の無償化に向けて



戸板 進



▲ 地域クラブの活動の様子

**A** 現在、本市が進めている地域移行は休日の活動のみであり、平日を担う教師が生徒の特性を見いだす機会は十分あると考える。

**Q** 地域クラブでは、大会出場などの経費や生徒の送迎など、保護者の負担が増加しているのでは。

**A** 学校部活動よりも経済的・時間的負担が増える傾向にあるが、国が示す予定の費用負担の目安などを参考に、対応策を検討する。

が、地域移行によって失われるのでは。

**A** 山車屋台や山車蔵、水引幕などの修繕に対する経費や山車当番区の山車制作・巡行にかかる経費、三國祭保存振興会の三國祭に関する広報活動などに対して補助金を交付している。

今後も資金面での支援とともに

**Q** 三國祭の保存・継承に取り組む保存会や山車当番区への継続的な支援策は。

**A** 山車屋台や山車蔵、水引幕などの修繕に対する経費や山車当番区の山車制作・巡行にかかる経費、三國祭保存振興会の三國祭に関する広報活動などに対して補助金を交付している。

**Q** 三國祭の継承について、現状をどのように認識しているか。

**A** 近年、少子高齢化や若者の都市部流出などにより、山車の制作や運行を担う人材の確保が難しくなっていることや、資金面の負担も多くなっていると聞いている。それでも、各区と三國祭保存振興会の努力により、地域外からも参加者を集めて祭りに関わる人の裾野を広げて、これまでと同じ規模の祭りが維持されている。

歴史と伝統のある三國祭を次世代に継承するために



辻 人志



▲ 多くの観光客が訪れる三國祭

**Q** 三國祭の国の無形民俗文化財指定に向けた調査について、進捗状況を問う。

**A** 令和5年度から、山車巡行への同行調査や祭りの運行状況、技術継承に関する聞き取り調査、過去の文献や写真資料の収集などを行っている。

に、担い手確保に向けた仕組みづくりやボランティア参加の促進など、地域の人と協力しながら持続的に支援を進めていきたい。

市政のここが知りたい

一般質問

令和7年12月8日～10日の3日間：18人

次ページからは、質問項目中の特に市民の皆さまへお届けしたい内容を掲載しています。

全編については後日議会ホームページに掲載される会議録や、YouTube(チャンネル名・福井県坂井市議会)をご覧ください。YouTubeは議員写真下の二次元コードから視聴できます。なお、文章は各議員が作成しています。

一般質問ってなに？ 定例会において、議員が市の実施している事業の状況や方針などについて、市から報告や説明を求めるために質問することです。

【通告一覧】

議員氏名	通告内容	ページ
戸板 進	(1) 学校給食の無償化について (2) 中学校部活動地域移行について	8
辻 人志	(1) 三國祭の継承について (2) 三國中央公園の利活用について	8
伊藤 宏実	(1) クマの被害とその対策について問う	9
岡部 恭典	(1) 地域の交通安全対策について	9
鍋嶋 邦広	(1) 市役所内でのハラスメントに関するリスクマネジメントについて (2) 北陸新幹線県内開業2年目の本市の観光動向と、これからの観光政策について	10
後藤 寿和	(1) 市役所1階アトリウムなどの利活用について	10
川畑 孝治	(1) 福井アリーナへの関わり方は (2) カスタマーハラスメント防止条例を作るべき (3) 中学校体育館空調設備設置工事補助を文科省・県の補助を受けられないか	11
上坂 健司	(1) 行政の組織改編等について	11
古屋 信二	(1) 人・農地施策について	12
山田 秀樹	(1) 市内の「中小企業」への支援	12

議員氏名	通告内容	ページ
廣瀬 陽子	(1) 若年層の相談支援について	13
畑野麻美子	(1) 気候危機と「食品ロス」どうしたら減らせる・・・「生ごみ処理容器(キエーロ)」の購入助成制度を求める (2) バリアフリーのまちづくりに向けて～車いすで入れる店舗・通れる歩道の整備を～ (3) 国の施策待ちでなく、学校給食費の無償化に乗り出すべき	13
前田 嘉彦	(1) 「便利アプリ」の活用について	14
三宅小百合	(1) 道路排水の維持管理と市民協働による安全確保について	14
永井 純一	(1) 坂井市の物価高騰対策について (2) 5歳児健診について	15
佐藤 岳之	(1) 本市のマイナンバーカードの取組について	15
松本 朗	(1) 物価高騰対策は今直ちに必要 (2) 参政党が提出した「スパイ防止法案」の危険と懸念、市長の見解 (3) 住宅確保要配慮者への住宅セーフティネットの強化を求める (4) 水道2部料金制導入についてと地下水調査を求める	16
林 豊夏	(1) 寄附市民参画制度の現状とこれから	16





伊藤 宏実



クマ被害とその対策を問う



市内でのクマや有害鳥獣の認知、被害の件数を問う。

クマの目撃や痕跡は35件、イノシシが26件、サルが5件、シカが3件である。

農作物被害は5・25ha、被害額765万3千円となっており、人身被害は4月に1件起きた。

捕獲状況はどうか。

令和7年11月末現在、クマが1頭、イノシシが70頭、ハクビシンが25頭、アライグマが49頭、ニホンジカが1頭、カラスが293羽捕獲されている。

過去の平均と比較しても、令和7年度は突出して多くはない。

市のイベントや学校行事などへの対応は。

出没の情報があった地区と近隣の地区には区長なども連携し注意喚起のチラシを配布している。また、防災メールなどを通じて

学校や周辺の施設を所有する関係課との情報共有も行っている。

古城マラソン大会では苦労したと思うが万全の準備だったのか。

マラソン大会当日の早朝、車載拡声器で大会告知に合わせ大音量で巡回し、携帯ラジオや鈴の携行、またスタッフにクマ用スプレーを配布するなどして警戒した。

緊急銃猟の検討状況は。

適切に運用するため、現在、実施体制や関係機関との連携を含めたマニュアルを作成している。



クマ捕獲の檻



鍋嶋 邦広



ハラスメントのない、明るい職場作りを



ハラスメントの兆候を早期に察知するための取り組みはどのようなものか。

ハラスメントに限らず、所属課内にメンター\*の職員を配置し、職員が相談したときに、相談しやすい体制を取っている。

また、全体的な相談窓口は職員課が担っている。

メンタル面の不調については、月1回、専門医によるこころの健康相談も実施している。

ハラスメント発生後の対応の体制はどのようなものか。

ハラスメントに関する相談を受けた場合は、当事者や関係者からの聞き取り、事実確認を行い、状況次第ではハラスメント相談・苦情処理委員会を設置し、今後の調査や対応を協議することになっている。



ハラスメント防止ポスター（厚生労働省HPより）

\*メンター：相談役

外部窓口の設置について検討すべきと考えるが、所見を伺う。

外部窓口については、職員のハラスメントに限らず、市の委託事業者が通報する窓口にもなるかと思うので、公益通報制度も見ながら、今後検討していきたい。

その場合は、被害者のプライバシー保護と、不利益防止を徹底するとともに、関係性の改善や人事異動、メンタルケアを講じるなどの対策をすることとしている。

外部窓口の設置について検討すべきと考えるが、所見を伺う。

外部窓口については、職員のハラスメントに限らず、市の委託事業者が通報する窓口にもなるかと思うので、公益通報制度も見ながら、今後検討していきたい。



岡部 恭典



地域の交通安全対策を



県道春江川西線と市道小森石塚線大石地区の交差点における交通事故の発生件数は。

また、事故が多発していることについて、地域住民から不安の声が上がっていることをどう受け止めているのか伺う。

令和3年以降、4件の交通人身事故が発生している。

交差点で発生する事故を防止することが課題であり、発生状況を見ながら警察や関係機関と連携し安全対策を検討していく。

点滅信号機撤去の経緯と交通安全の観点から再設置の考えは。

道路状況や交通量の減少により一灯点滅式信号機を撤去し、一時停止の規制をした。

隣接する信号機との距離150メートル以内の設置条件に該当するため、再設置については難しい。

道路標示の摩耗や標識の視認性の低下など、道路管理上の課題と

具体的な改善の見直しは。

県道部の「事故多発」の道路標示が舗装の摩耗や劣化により薄くなっているため、道路管理者による注意喚起の強化など総合的な安全対策を講じることが重要であり、坂井警察署や福井県三国土木事務所と合同で現地立ち会いにより対応策を協議していく。

また、摩耗した道路標示については道路管理者である県に対応を依頼したところである。



県道春江川西線市道小森石塚線交差点



後藤 寿和



市民に親しみやすい市役所1階アトリウムの活用を



開放的で天井の高い市役所1階アトリウムを市民に開放して活用したらどうか。

市民への開放については、窓口業務への支障の少ない、業務時間外や休日が想定されるが、作品展などの事例を紹介しながら広く活用してもらえよう努める。

当初の整備計画では地域イベントや発表にも利用してもらいたいとしていたが周知広報は。

当初は周知していたが、以降は積極的に周知していないので、今後は周知広報していく。

昼の時間を利用してミニコンサートやイベントなどを開催し、憩いの場として活用してはどうか。

市役所内に、多目的研修集会施設があり、ミニコンサートやイベントなど、市民が気軽に来庁できるように取り組みについては市役

所の施設全体として改めて検討したい。

要望も多い食堂・カフェ機能の必要性について、市の認識は。

また、設置についてはどのように考えているのか。

市役所の1階に自販機のある休憩スペースを設置してある。

このスペースにカフェのような機能を持たせて、市民にも広く利用してもらえようような活用方法について検討していく。



活用が期待される市役所1階アトリウム



かわばた  
川畑 孝治

たかはる  
孝治



福井アリーナへの関わり方は

福井アリーナに対する本市の関わりは。

市民益を最優先に検討したい。

福井丸岡RUCKの試合会場として使えないか。

福井県民応援チームの一つであり、県や関係機関に働きかけた。

カスタマーハラスメント防止条例を作るべき

カスタマーハラスメント防止条例を作るべき

一人の職員に過度な負担とならないよう、複数人に対応・カスタハラ防止啓発用ポスター掲示・職員研修会を実施している。

カスタハラ防止条例を策定すべき。

全国的な社会問題であり、国において法制化することが望ましい。

中学校体育館空調設備設置工事に国・県の補助を受けられないか

設置工事は進んでいるが、国・県に対して補助を求めている。

新たな設置工事交付金、従来の交付金、緊急防災・減災事業債を比較検討し、緊急防災・減災事業債を活用する。

小学校体育館の空調設備設置工事は考えているのか。

空調設備が未設置の特別教室への設置を優先し、体育館への空調設備については、さまざまな補助制度の情報収集を継続して検討したい。



▲カスタマーハラスメント防止ポスター（札幌市HPより）



ふるや  
古屋 信二



人・農地を守るための実効性ある仕組みづくりを

集約できない農地が各地に点在し、将来の農地維持に不安が広がっているが、市の認識を伺う。

担い手不足や条件不利地の増加は、重要な課題と認識しており、地域計画や農地中間管理機構を活用し、放棄地の発生防止に努める。

耕作不適地や耕作放棄地を早期に把握するため、市独自の評価基準を設け、地図化するなど「見える化」を進めるべきではないか。

農業委員会によるパトロールや、デジタルツールを活用して実態把握を行っているが、情報共有の方法については今後検討していく。

鳥獣害対策について、地域おこし協力隊など人材を活用した専門的な体制整備が必要ではないか。

専門的知見を持つ人材の確保は有効であり、協力隊制度の活用も含め、今後検討していく。

耕作放棄地の再生や担い手育成を進めるため、協力隊を農業分野に特化して活用すべきでは。

他自治体の事例を参考にしながら、地域や農業法人の要望に応じた受け入れを検討する。

農村RMO\*など地域運営組織による農地管理体制を強化し、高齢化が進む地域を支える仕組みづくりが必要ではないか。

モデル地区の取り組みを検証しながら、地域の意向を踏まえ、支援していきたい。



▲農地農村風景

\*農村RMO：複数集落で農地保全や生活支援を行う組織



うえさか  
上坂 健司

けんし  
健司



組織改編による観光文化戦略を

国には文化観光推進法があり、また全国の自治体では観光文化部が複数存在し、拡大傾向にある。

本市は福井県の文化・観光・食のトップランナーとして、上部機関との整合性を考慮した組織改編についてどう考えるか。

2年余りの文化観光推進本部の体制が十分機能を果たしている。組織改編は難しい問題であり、都度柔軟な考え方が必要で、職員の意見を十分聞きながら職員の仕事が一番進めやすい体制づくりを、協議・検討していく。

こどもまんなか社会を

こどもの声を尊重するのがこども計画の一つと考える中で、引きこもりや不登校、ヤングケアラー、



▲令和7年度に策定された坂井市こども計画

市内の「中小企業」への支援

市内中小企業が直面している課題と、政策への調査結果の反映は。調査の結果、「人材確保・育成」や「市場と販路拡大について」が多く、これらを計画に反映させていく。

企業の魅力発信や若者の地元定着に向けた取り組みは。

人材育成費用、就職説明会やSNSで活用できる魅力発信、採用動画制作費用の支援を行っている。

補助金や融資制度申請を簡略化し、利用しやすい環境を整えては。商工会の経営指導員に協力を依頼し、資料作成指導など、市と商工会の連携を考えている。

労働力を望む企業と人材との、市独自のマッチングの仕組みは。

合同就職説明会の開催や、大企業などで活躍する人材による業務効率化に取り組んでいる。

虐待など広く公平に聴く聴き取り方や、こどもが意見を表明できる場についての支援構築は。

また、「こども政策課」の設置や教育部局への移行など組織改編の見解は。

各家庭の意見については、支援に携わっている相談員や関係機関から聴取し、その中で実際のこどもの声を支援につなげ、今後も多くの人の意見を拝聴していく。こども政策課や組織改編については、現状の業務や職員体制の影響や課題があると考え、必要性について調査・研究していく。



やまだ  
山田 秀樹



また、(株)タイミーと包括連携協定を結び、潜在する労働力と求人とのマッチングを推進している。

公共調達入札で市内企業が参加しやすい制度は導入されているのか。

市内企業の参加を最優先とすることを原則としている。また、令和7年度から入札参加資格審査、申請回数を年1回から4回に増やし、より入札に参加しやすい制度の見直しを行った。

元請け業者に対し、下請けを市内企業に発注する努力義務を設けている自治体もあるが本市は。今のところ設けていない。



▲坂井市の企業支援情報サイト



ひろ瀬 陽子



若年層の相談支援の強化を

若年層の孤立を課題として認識しているか。

支援を必要としている若者のサインが見えにくい点が課題であると認識している。

傾向データの蓄積を図り、現状把握に努めている。

生活面に困難を抱える若年層の相談状況は。

19歳から40歳未満の相談件数は、令和6年度は47件、令和7年11月末時点で53件であり、増加傾向である。

家族からの相談も増加しており、当事者だけでなく家族全体を視野に入れた支援が必要な例も見受けられる。

若年層への相談窓口の周知方法は。

市ホームページや広報紙、公式LINEなどを活用し、「ここサポ」に関する情報発信を積極的

に行っている。

孤立や孤独を感じている若年層の居場所づくりの必要性をどのように考えているか。

若年層は就職や進学など人生の転換期が集中し、不安や孤立を抱えやすい時期であるが、支援対象として見過ごされがちである。

悩みを話せる環境や相談ができる居場所づくりの必要性は、重要であると認識している。

令和8年度策定の地域福祉計画で、議論や検討を進めたい。



▲分野を問わず相談できる福祉窓口「ここサポ」



まえだ 嘉彦



「便利アプリ」の活用について

市公式LINEの登録者数は。

「広報さかい」に市公式LINEの二次元コードを掲載しており、現在は1万3千人である。

電子回覧板「自治会サポ」の活用促進を図るには、自治会に出向いて説明すべきと考えるが。

区長からの要望に応じて、令和7年度は17区で25回の説明会を開催している。

令和8年2月から3月にかけて、コミュニティセンター単位で説明会を集中的に開催する予定である。

情報格差（デジタルデバйд）や高齢者への対策は。

毎週水曜日にコミュニティセンターにおいて、LINEや便利アプリの使い方などの相談窓口を開設している。

通知の頻度と質への対応は。

利用者が必要な情報を選択できるメニューや機能の改善など、分かりやすい情報提供に努めたい。

A-1チャットボットを導入し、市民サービスの向上や職員負担の軽減を図ってはどうか。

よくある質問への自動回答や24時間対応が可能になることは大きなメリットと考える。

費用や運用体制の整備などの課題もあるため、他自治体の取り組みや動向を見ながら、公式ホームページのリニューアルに合わせ検討したい。



▲坂井市ホームページの便利アプリ一覧

※AIチャットボット：利用者からの質問に人工知能で自動的に応答するプログラム



はたの 麻美子



気候危機と「食品ロス」

どうしたら減らせるか。 「生ごみ処理容器（キエーロ）」の購入助成制度を求める

生ごみ減量・資源循環・環境教育の観点から「生ごみ処理容器（キエーロ）助成制度」を求める。

生ごみ処理容器の助成制度については、他の自治体の事例やコストを参考に導入を検討していく。

車いすで入れる店舗・通れる歩道の整備を

車いすで入りづらい店舗の聞き取り・実態調査をすること。

令和8年度の障害者福祉計画策定委員会で協議し、車いすの人の聞き取り調査の実施に向けて検討する。

歩道の現地調査、危険箇所の整備をすること。

関係部局と緊密な連携のもと具体的な取り組みを検討する。

道路排水の維持管理と市民協働は

道路排水の点検体制は。

梅雨入り前、除雪対策期間の前などに巡回し、確認をしている。市内の側溝・排水路の総延長および老朽化率はどのように把握しているか。

道路台帳で管理をしており、延長、幅員、面積、歩道延長などの主要な情報を把握している。市道は800キロメートル以上と長く、広範囲にわたるため、側溝、排水路の総延長や、整備後の経過年数などの老朽化率までは把握できていない。

危険箇所リストや優先度区分の基準はあるか。

具体的な基準はないが、危険箇所は把握しており、交通量の多い幹線や交差点部などについて優先的に対応をしている。

通報に対する平均対応日数は。通報を受けた際には、建設課の

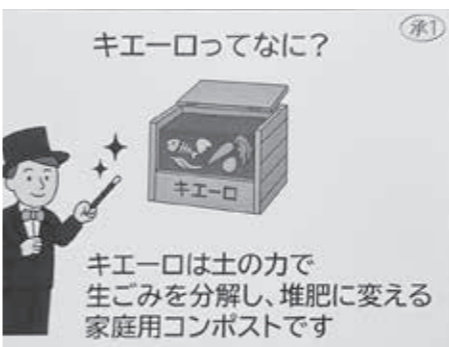
バリアフリー改修相談や支援制度の窓口体制が必要では。

身体障がい者などを対象とした支援制度の周知、手続きなども含め、全庁一元的に対応していく。

国の施策待ちではなく、小中学校の給食費の無償化に乗り出すべき

池田市長の英断を求める。

国の補助制度、交付金、本市の財政面を精査しながら令和8年度からの実施に向けて考えている。



▲坂井市ゼロカーボンシンポジウム2025における市民成果発表でのスライド



みやざき 小百合



職員が現地確認を行い、対応が可能な場合には即座に対応し、対応が困難な場合には業者に依頼する。

修繕の内容や規模に応じて、対応日数にばらつきはあるが、軽微な作業は数日で完了する。

冬季の道路損傷の予防対策は。巡回強化を図っていく。

町内会や団体との協働体制は。本市での汚泥などの処分を行っているほか、側溝の蓋を外す道具の貸し出しや、土のう袋、掃除用のごみ袋を支給している。



▲道路側溝の整備作業の様子



ながい 純一



### 市民のための物価高対策を

物価高に対して、低所得者、高齢者や子育て世帯への支援を厚くするとともに、中間所得者、中小企業、福祉関係など幅広く支援すべきと考えるが。

現在、国の交付金を最大限活用して、家計および事業者の支援を進めている。

また、国の補正予算の重点支援地方交付金は、さまざまな推奨事業があり、全庁を挙げて具体的な検討を進めている。

議員からも提案をもらい、効果的な支援となるよう進めていく。

### 子どもの未来輝く5歳児健診を

現在、5歳児健診は実施されていないが、大変重要ではないか。

5歳に達する頃は、言語の理解能力や社会性が高まり、就学を控えた重要な時期なので、5歳児健

診の重要性を認識している。令和8年度、実施に向け検討している。

子どもに限らず、市民の健診を促し早期受診、早期発見で対策を講じることが重要と考えるが。

まずは健診を受けて、自分の体の健康を確認することが大事である。

受診率向上に取り組んでいるが、自分は大丈夫と思っている場合があるので、市民の健康のため、受診のきっかけづくりに取り組む。



▲ 3歳児健診の様子



まつもと 松本 朗



### 物価高騰対策を直ちに

実質賃金が10カ月連続マイナスで、市内全ての世帯、事業所に軽減効果があるのは水道料金への支援だと思いがいがか。

水道料金も一つのメニューである。幅広く市民生活に効果がある施策を検討している。

年度末を待たず、緊急に対応することが可能では。

スピード感とともに効果が高まるものにするために検討する。

### スパイ防止法案への懸念

日本はスパイ天国か。政府の認識として、「スパイ活動は事実上野放しで抑止力がない国家であるとは考えていない」と承知している。

スパイ防止法に対する懸念は。この法律が市民生活に悪い影響を及ぼすのであれば、本市としても声を上げていく必要がある。

### 住宅確保困難者への支援を

高齢単身者が急増しているため、住宅確保困難者への支援体制をつくる必要がある。

本市は、居住相談支援員を配置し、支援している。不動産会社、社会福祉協議会など関係機関による協議の場も設置する予定である。



▲ 住宅セーフティネット法の概要（国土交通省HPより）



さいとう 佐藤 岳之



### 本市のマイナンバーカードの取り組みについて

今後予想される再交付申請と電子証明書の更新手続きがピークとなる時期に、それぞれの系統について、どのように対応していくのか。

10年経過による再交付申請と、5年経過による電子証明書更新申請を合わせた対象人数は、令和7年度が約1万6千人、令和8年度が約1万8千人、令和9年度が約2万6千人、令和10年度が約1万2千人と想定している。

カードの申請や交付が集中し、窓口が混雑した近年の状況とは異なり、比較的短時間で対応となる電子証明書の更新が8割以上を占めることから、現在の人員体制で対応できると考えている。

マイナンバーカードの市独自の活用について検討しているのか。現在、マイナンバーカードを利

用しての電子申請サービスとして、コンビニエンスストアなどで、戸籍証明書や住民票の写し、印鑑登録証明書などを取得できるほか、窓口では、手続きする人のマイナンバーカードをタッチすることで、情報を申請書に印字する作成補助機を導入している。

また、令和8年3月オープン予定の全天候型子どもの遊び場さかいキッズパークにおいて、マイナンバーカードを利用した顔認証システムにより、利用者の入場管理に活用する準備を進めている。



▲ 便利なマイナンバーカードを利用した証明書のコンビニ交付のチラシ



はやし 豊 夏



### 寄附市民参画制度の現状とこれから

寄附市民参画制度は、市民が主体的に提案し、寄附を通じてまちづくりに参加する仕組みとして始まったが、これまでの成果と市民提案の状況をどのように評価しているのか。

制度はふるさと納税の活用により規模が拡大し、多様な事業に取り組んできた一方、市民提案の割合は必ずしも高いとは言えず、制度本来の目的から見ると改善の余地がある。

市民提案が増えにくい背景として、どのような課題が存在すると考えているのか。

提案に至るまでの手続きの分かりにくさや、相談体制・支援体制が十分でない点が課題であり、制度の認知度向上や伴走支援の強化が必要である。採択されたにもかかわらず、数

年間事業が進んでいない事例があるが、その理由について伺う。

関係団体との調整に時間を要し、進捗が遅れた事例がある。寄附者の期待を裏切らないよう、進捗管理の改善に努める。

制度を今後より良いものにするため、どのような方向性で改善を進めていくのか。

提案段階での相談支援や広報の見直し、採択後の進捗管理の強化に取り組み、制度全体の信頼向上を図る。



▲ 寄附者に送る使途報告書



## 議会連絡掲示板

### 議会と意見交換しませんか？

議会との意見交換会を希望する団体を募集しています。坂井市議会では議会基本条例に基づき、様々な団体との意見交換会を実施しています。募集内容を坂井市議会ホームページに掲載しています。詳細は右の二次元コードからご覧ください。

こちらからホームページにとびます！



### 議会を傍聴してみませんか？

事前予約は不要ですので、お気軽にお越しください。



定例会  
会期日程は  
こちら

#### ★ 3月定例会会期日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/1	2	3	4	5 10:00～ 本会議初日 (施政方針、議案説明など)	6 9:00～ 予算特別委員会	7
8	9 9:00～ 予算特別委員会	10	11	12	13	14
15	16	17	18 10:00～ 一般質問	19 10:00～ 一般質問	20 10:00～ 一般質問	21
22	23	24 10:00～ 産業建設常任委員会 予算特別委員会分科会	25 10:00～ 教育民生常任委員会 予算特別委員会分科会	26 10:00～ 総務生活環境常任委員会 予算特別委員会分科会	27	28
3/1	2 13:30～ 予算特別委員会 (採決など)	3	4	5 10:00～ 本会議最終日 (委員長報告・採決など)	6	7

※ 日程は、変更になる場合がありますので、変更となった場合は、坂井市議会ホームページでお知らせします。

### 編集後記

12月にUVERworldのライブに行ってきました。私にとって彼らの音楽は常に横にあり、悩んだときや落ち込んだときには、彼らの楽曲が支えてくれ背中を押してくれ、奮い立たせてくれました。彼らは常に現状に甘んじることなく、挑戦を続け、音楽に本気の言葉を乗せて伝えてきました。『迷いながらも前へ進む』『言葉にして想いは届く』そのメッセージは、政治の世界にもそのまま通じていると感じます。声を上げ続けることや批判を恐れず、挑戦をやめないことなど彼らの音楽や生きざまから教わりました。市民の声を聞き、向き合う姿勢の大切さ、議員も同じだと感じています。今後も議会だよりを通じて、より多く伝えていける紙面づくりを意識していきます。

(後藤 寿和)

## 会議録検索ができます！

坂井市議会では、定例会・臨時会の会議録の閲覧や検索ができるように会議録検索システムを導入しております。会議録を簡単に検索できますのでぜひご利用ください。

1. 会議録
2. 会議録検索
3. 会議録検索システム(外部サイトへリンク)
4. 会議録検索システム

会議録検索システム

くわしく検索

- ことばで検索
- 発言者で検索
- 会議名で検索
- 期間で検索

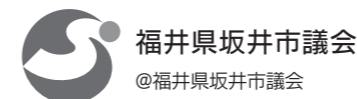
### 会議録検索システム

条件を絞り込んで検索できます。かんたん検索でキーワード検索したり、ことば、発言者、会議名、期間で検索できます！

## YouTubeで坂井市議会を生配信しています！

坂井市議会では、開かれた議会の一環として、YouTubeにて定例会の本会議・一般質問を生配信しております。議会に興味があるけど傍聴に行く時間がない、そういった方もぜひご覧ください。また、後日録画動画の公開も行っています。広報紙に載せきれない答弁なども見ることができますので、ぜひ、ご視聴ください。

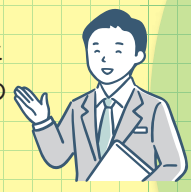
YouTubeウェブサイト内で「坂井市議会」と検索、または下記の二次元コードを読み取ることで、坂井市議会のYouTubeチャンネルにアクセスできます。チャンネル登録をしていただくと新しい動画の通知が届きます。ぜひ、ご登録をお願いします。



# 議案の流れ

～坂井市の方針はどうやって決まっている？～

今回は議会の中で最も重要な会議ともいえる定例会で話し合われる議案の流れに焦点を当てて解説します。



Q 議案って？

A 市の政策に関して議員の賛否を求める提案のこと。

Q ？

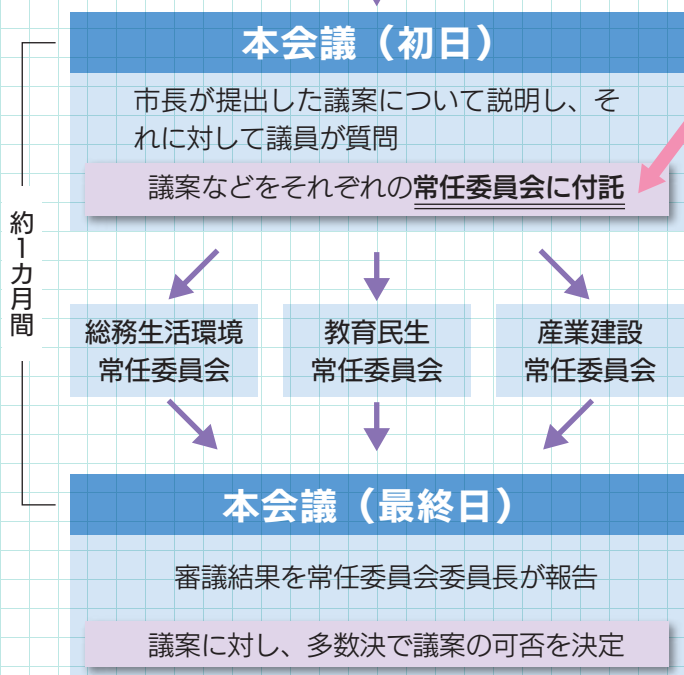
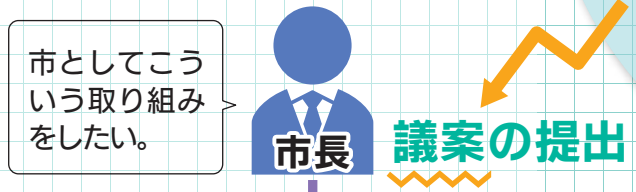
A ？

Q ？

A ？

例えばどんな議案がある？

A 市の金の使い方を決める予算案や、条例の制定、改正など多岐にわたります。



『常任委員会に付託』？

議案にはさまざまな内容があります。数多くある議案の一つ一つを本会議期間中に細かく審議することが困難であるため、議員を少人数ずつに分けた委員会を設置し、それぞれに議案を分けて託すことで専門的、効率的な審査をしています。

このように議案の審議を常任委員会に託すことを委員会付託と言います。

左の図のように坂井市には3つの常任委員会があり、議員はそれぞれいずれか1つの委員会に所属しています。

## 市政に反映!!!

このようにして坂井市の議案は審議されていきます。

今回は議案の流れについて解説しましたが、それ以外にもさまざまな会議で協議などが行われています。

興味のある方はぜひ傍聴や坂井市議会YouTubeで本会議の様子をご覧ください!!

YouTubeの詳細は17ページに記載しています。

